



知能教室だより

〈 第 9 号 〉
平成 29 年 12 月 11 日
山形知能教室

12 月に入り、寒さが一気に厳しくなったように感じます。いよいよ一年の締めくくりを迎える頃となりました。今年一年みなさんにとってはどんな一年だったでしょうか。振り返りながら、まだ達成していないことや残っていることがあったら、早足でとりかかりましょう。

年末を迎えるにあたり、慌ただしくなりますが、一日一日を大切に過ごしていい冬休みを迎えられるようにしましょう。ご家族の皆さん、寒さに負けないように体調管理にも気をつけてくださいね。

これからの日程



★2 学期★

★2 学期終業日・・・12 月 15 日（金）

※授業時間数の関係で、この日より早く終わるクラスもあります。詳しくは授業参観の時に渡したお知らせに書いてありますので、ご確認ください。

★ 評価面談・・・12 月 19 日（火）～12 月 26 日（火）

※評価面談日の日時については、別紙お知らせをお渡ししておりますので、ご確認ください。

★3 学期★

★3 学期始業日・・・1 月 11 日（木）

※3 学期については、年賀はがきでお子さんの開始日をお知らせします。間違いのないようにして下さい。



2 学期の終業にあたって

終業日には、ズックを持ち帰ります。3 学期の始業日は、内ズックを忘れないで持たせて下さい。5 日から教室は開いていますので、前もって届けて下さっても構いません。

小学生のプリントは、まだ 4 枚 100 点になってないものはありませんか？そのままにしないで、必ず冬休み中に直して、3 学期始めに提出しましょう。



～幼児教育の重要性～

教育にはいつ投資すべきか？

このような問いに、教育経済学という視点からみると、幼児教育の時期に投資することは重要であるという科学的根拠が明らかになっているといわれています。

『「学力」の経済学』 という本より、要点をご紹介します。

著者 中室牧子

1960 年代から開始されたシカゴ大学のヘックマン教授らの約 40 年間の追跡の研究実績で「ペリー幼稚園プログラム」は、「質の高い就学前教育」を提供することを目的に行われ、今、なお、さまざまところで高く評価されています。ノーベル経済学賞を受賞したヘックマン教授らは、人的資本への投資はとにかく子どもが小さいうちに行うべきだと示しています。ただし、ここで大切な「人的資本」とは、人間が持つ知識や技能の総称ですから、人的資本への投資に、しつけなどの人格形成や、体力や健康などへの支出も含まれます。必ずしも勉強に対するものだけではないのです。

また、ヘックマン教授らは、学力テストでは計測することができない非認知能力が、人生の成功において極めて重要であることを強調しています。

どんなに勉強ができて、自己管理ができず、やる気がなくて、まじめさに欠け、コミュニケーション能力が低い人が社会で活躍できるはずはありません。一步学校の外へ出たら、学力以外の能力が圧倒的に大切だというのは、多くの人が実感されているところではないでしょうか。

非認知能力といっても、さまざまなものがありますが、その中でも、人生を成功に導くために特に重要な非認知能力として、「自制心」と、「やり抜く力」があげられています。この二つは、教育やトレーニングによって鍛えて伸ばせるものです。

このことが、これまでの研究の中で明らかになっているものです。

この本を読んでみて、改めて、知能教育の考え方に相通じるものがあると確信して、ご紹介しました。

知能教育でも、意欲、集中力、創造力、態度を大切にしています。幼児期に質の高い教育を受けることの重要性が、科学的根拠で証明されているということに、知能教育は古くからありながら、常に最先端をいっているのだと再確認しました。

入室児募集

～平成 30 年度 入室児を募集します～



知能教育の素晴らしさを多くの方に広めたいと思っています。幼児期の質の高い教育が大切であることは、科学的根拠で裏付けされています。興味のある方がいらっしやいましたら、是非おすすめしてご紹介ください。

知能教育を受けたお子さんは、非認知能力はもちろん、深い思考力が育ちます。